

the most beautiful
villages
in japan

喜界町は「日本で
最も美しい村」連合
に加盟しています。



広 報

平成26年 (2014年)

きかい

1

No.559

幸せを運ぶ「コウノトリ」
～喜界島初飛来～

みなさんに幸せが届きますように



表紙説明

国の特別天然記念物に指定され、幸せを運ぶ鳥といわれる「コウノトリ」。このコウノトリが12月中旬、喜界島に初飛来した。詳しくは8pの記事を参照。

CONTENTS

新年のごあいさつ・・・P 2	シマの話題・・・P 9	一歳になりました など・・・P18
年男・年女のメッセージ・・・P 4	教育委員会のとびら・・・P13	戸籍の窓 など・・・P19
成人式・・・P 6	すこやかニュース・・・P14	くらしのカレンダー・・・P20

あいさつ

皆さまへごあいさつ申し上げます



喜界町長
川島 健勇

新年、明けましておめでとうございます。新しい年・平成26年（2014年）を迎え、謹んで町民の皆様方のご健勝をお喜び申し上げます。

さて、昨年は奄美群島が祖国日本に復帰して60年という節目の年で、多種多様な関連行事が群島内で開催されました。これらの行事を通して、敗戦後の食糧事情など厳しい生活環境の下、全群島民と本土在住の奄美チュがまさに「大同団結」して勝ち得た成果、それが「日本復帰」であったということとを若い方々にも知って頂きたいと感じました。そして、現在の安穏な生活が先輩諸氏の情熱と苦勞のためものであることに感謝して、我々は奄美自立のために各人が更なる奮闘を誓い合い、一致団結していくべきでしょう。

それから、わが喜界島の昨年を振り返りますと台風被害も少なく、生和糖業が年内操業するなど、ここ数年では多方面で比較的穏やかな年であったのではないでしょう。しかしながら、人口減少等の喫緊の課題は相変わらず続いているのも事実です。

このような中で、わが島の存在感を高めた明るい三つの話題を紹介いたします。一つ目は、土地改良事

業に伴う遺跡発掘現場で古代から中世にかけての朝鮮半島の陶磁器や製鉄炉跡、琥珀などが次々に出土していることです。これは、当時この島には相当の影響を持つ勢力または役割があったものと推定され、これまでの歴史を見直す必要が指摘されるほどです。

二つ目は阿伝集落の南海文化賞の受賞です。集落の皆様が、営々と守り築いてきた石垣群が「環境文化型集落」の象徴的な景観として、高く評価されたものでした。

三つ目は国の文化審議会が荒木・中里海岸遊歩道にある隆起サンゴ礁上植物群落を国の天然記念物に指定するよう文部科学大臣に答申しました。隆起サンゴ礁の北限にありながら、海岸植生から沿岸地樹林まで連続して残されており、面積も広く多様性の高い植物群落として貴重な地域であると評価されていることです。

これらのことから、私たちが見過ごしてきた宝が他にもあることが想像できるとともに、このような外からの評価は、喜界島の観光の目玉とも成り得ると大いに期待しています。また、沖永良部の優良農家や寒冷地で頑張っている農業青年達が喜界島の温暖な気候、畑地灌漑で整備された広大な畑地

を見て大いに羨むのを目の当たりにした時、わが島の可能性に自信を持つと同時に、これからこうした島の強み（宝）をどう生かしていくかは、町民みんなに掛かっていると改めて感じました。

さて、新年はどういう年になるのでしょうか。アベノミクス効果は日本経済を再生し、それが地方や離島まで及ぶのでしょうか。あるいは、単に国の借金を増やすだけで終わるのでしょうか。ぜひ前者であって欲しいものです。ただ、確定しているのは消費税が5%から8%に引き上げられ、国民生活に大きな影響を及ぼすであろうということです。

このような不安が募る社会の中でも、私たちの住むこの島はある程度の満たされた生活と心豊かな子育て、そして安心した老後を過ごすには大きな可能性を秘めていると確信しています。そこで、町民の皆さん、「小粒でもきらりと輝くいい島」を目指して本年も共に邁進していきましょう。最後になりましたが、新しい年が町民の皆様にとつてすばらしい年でありませう、ご祈念申し上げます。

新年のご

町・町議会の代表より町民の



町議会議長
中島 智一

町民の皆様、新年明けましておめでとうございます。

気分も新たに、平成26年を迎え新春のお慶びを申し上げます。

昨年は奄美群島日本復帰60周年の記念事業が奄美市文化センターで開催され、奄美群島内の各市町村すべての行事で「奄美群島日本復帰60周年記念」の冠をつけて祝いました。

本町においては、生和糖業が年内操業を開始し、サトウキビの生産量も8万2千トと3年ぶりに豊作が見込まれています。

TPP（環太平洋連携協定）交渉については、アメリカや他の関係各国との話し合いがもたれておりますが、決着せず越年しました。今後、サトウキビを含む5品目の決着はどういった形で決まるのか、日本の農業あるいは奄美のサトウキビ産業の命運をかけた交渉だけに非常に気になるところです。

また、TPPの結果次第でどう変わるのかわかりませんが、子牛価格も昨年から徐々に回復しており、今後さらなる高値を期待するところです。

平成26年3月に期限切れとなる

奄美群島振興開発特別措置法の継続についても、早期から農業・観光交流・情報の重点3分野を基軸に、奄美12市町村と県が成長戦略ビジョンを策定し、県出身の国会議員等の応援を得て要望活動をしました。その結果、奄振予算のめどが付き、航路・航空路・農産物への助成金などを対象にした一括交付金を盛り込んだ新しい奄振法の早期制定を望むところです。

公共事業の削減でいまだ低迷の中から抜け出せない島内の建設業ですが、新年度の奄振法では公共事業費が前年度より5%増の予算を組まれており、25年度の補正と合わせてわずかではあります。幾分か事業量が増えていくのではないかと期待するところです。これからも国・県・町の関係者、全員参加のもと対策を講じるよう要望してまいります。

平成26年は、喜界町のスローガンである「自ら学び、心豊かで活力に満ちた、潤いのある、町づくり」、さらには、「日本で最も美しい村」連合に参加している本町は、観光交流にも力を入れて「住みよい町」を目指していければと思います。

また、昨年末には幸福を運んでくるといわれるコウノトリが喜界島に初飛来しており、町公認のマスコットキャラクターである「よるこびと」とくんと共に、大きく飛躍する年になればと期待するところです。

町民皆様の益々のご健勝とご多幸を御祈念申し上げ、新しい年を迎えるに当たっての年頭の挨拶と致します。





今年は何(うま)年。「午」という字は、もちをつくときに使う「杵」の原字。午年の特徴は情熱的で、才知、才能に富んでいるといわれています。今年は何(うま)年を愛する午年のシマツチュが持ち前の才能を活かし、多方面で活躍する姿がみられるでしょう。ここで、午年生まれの皆さんからのメッセー ジを披露します。



生 禎藏【上嘉鉄】
(昭和5年生)

次世代を担う皆さんへ
私が13歳の時、父は戦死し、母は女手ひとつで大変な苦勞をしながら、私を育ててくれました。その姿をみて幼いながら「よしやるぞ」と奮起し、サトウキビ作りを一生懸命に取り組みました。それからというものが、これまでキビ作一筋で生計を立て頑張ってきました。

昔の農業は、畑の耕作や運搬用に馬が幅広く飼育されていましたが、現在では大型機械が導入され、心身共に楽になりました。
今後の農業発展を楽しみながら、次世代を担う皆さんが夢と目標に向かって頑張

る姿を見守っていきたくて思っています。



岩田 恵子【湾】
(昭和5年生)

感謝

この世に生をうけ、「這えば立て、立てば歩めの親心」で両親から愛情一杯に育てられ、八十路という坂を乗り越えることができました。

小学一年生の時には日中戦争、六年生では大東亜戦争と大変な学生時代を経験しました。あの苦勞した時代から考えると想像もできない今日があることは、何よりの感謝です。

素晴らしいわが島に感謝して、これからも前向きに楽しい人生を送っていきたくて思っています。



深水 節雄【赤連】
(昭和17年生)

町民の方々と家族に感謝

昭和37年、鹿屋に住んでいた私は「町内に車の整備士がないから来て欲しい」と知人から頼まれ、小船「きかい丸」に乗って、島に来ました。それからは、度重なる台風襲来や風習の違いなどで驚きの連続でしたが、島民の方々の心温まる人情にふれ、幾多の困難も乗り越えてきました。

島で妻と出会い、3人の子どもを授かるなど家族にも恵まれ、健康に古希を迎えることができました。

お世話になった皆様への感謝の気持ち忘れずに「残された人生、何が出来るか」を思案している今日です。



愛島フデ子【赤連】
(昭和17年生)

感謝

昭和17年、太平洋戦争の真ただ中に生を受け、東京オリンピックが開催された年に結婚しました。

幾多の困難を乗り越えて今年、結婚50年目と年女という節目を健康に迎えることができたという幸せを実感しているところです。

子どもの幸せと孫の成長を心から祈りながら、社会に感謝しつつ、これからの人生を日々楽しく送っていきたくて思っています。



湯浅 載一【上嘉鉄】
(昭和29年生)

還暦

この島で産声を上げ60年、還暦を迎える年になりました。そして、恒例になった島での還暦同窓会に全国の同窓が集まります。都会に上った

者、島に残って頑張っている者、各々いろいろな人生ドラマが繰広げられてきたものと思います。顔に刻まれた年輪にはいくつもの荒波を乗り越えてきた逞しさ、強さ、優しさが溢れ出ているに違いありません。

還暦は、第二の人生の出発点。同窓会で鋭気を養い、第二の人生がより良く有意義なものとなるよう努力していこうと思えます。



渡辺八代子【志戸桶】
(昭和29年生)

人生 山あり 谷あり

この世に生を受けて、早還暦を迎える事になりました。「怒るな、急ぐな、悲しむな、そこから物事は再出発できる」私はその言葉を念頭におき、60年間生きてきました。これからもその言葉のように日々を大切に歳を重ねていこうと思えます。





郡山 孝秀【志戸桶】
(昭和41年生)

輪

私たちは昨年「喜界^{むれ}鮮会」を発足しました。群れるというのには賛否両論ありますが、丙午として数少ない同窓生が仲間の輪を広げ、一致団結していこうとの思いが込められています。

現役世代のリーダーとして、次世代へのバトンをしっかり持って、今年一年、41輪駆動で「馬」の如く駆け回ります。



豊 奈々江【赤連】
(昭和41年生)

健康に感謝!

みんな元気ですか? 今年は「と・し・お・ん・な」よく丙午の女性は気性が激しいなどと言われますが、「60年に一度の元氣者」とも言われます。私もその通り、

夫と子供達と毎日元気いっばい充実した日々を送っています。

健康、元気だからこそ、今年の同窓会(鮮会)で各地にちらばった友と再会することができると思います。同窓生の皆さん、島の思い出を語らしましょうね。



光 正太【湾】
(昭和53年生)

父親としての決意

12年前に島に帰って来て、その後結婚。昨年の4月には商工会青年部部长に就くなどいろいろな事がありました。が、やっぱり自分にとっての大きな出来事は、昨年の8月に長女を授かり父親になったことです。

これからは娘に喜界島のすばらしさを伝えられるように妻と頑張っていこうと思います。



孝志 秀美【早町】
(昭和53年生)

感謝の年に

昭和53年生の同窓と元且駅伝を走り、大変ながらも楽しくスタートを切った今年。周りにたくさん仲間がいる事はやっぱり最高なことだと、改めて実感しました。

両親や家族、周りの人達に頼り、頼られながら、楽しく幸せいっばいな良い年にしたいと思います。



玉利 祐也【荒木】
(平成2年生)

私らしく

島人として生を受けて24年。私がこうして楽しい毎日過ごすことができるのも、父と母のおかげです。本当に「ありがとう」

父の「明るさ」、母の「優しさ」を心に刻み、私は島人として、自分の人生を不器用



倉橋 佳世【東京都・湾出身】
(平成2年生)

成長していける年に!

昨年11月に第一子となる長女が産まれました。自分自身が母になり、初めて母親の本当の偉大さを知り、両親や家族への感謝の気持ちを改めて感じました。

今年は、そんな両親に少しでも恩返しをしたいと思えます。そして、夫と家族を支え合いながら、妻として、母として、成長していける年になりたいです。



中山 海士【志戸桶】
(平成14年生)

今年もがんばるぞ!

今年のぼくの目標は、勉強と運動をがんばることです。宿題をていねいに取り組み、剣道やバスケットボールで、

みんなを引っばっていききたいです。

6年生になると勉強も難しくなり、行事も多く、忙しくなると思いますが、何事も全力で取り組んでいきたいです。



正木 深奈己【中里】
(平成14年生)

午年!わたしたちの年

今年午年、わたしたちの年。わたしは今、とてもわくわくした楽しい気分です。

「うま」といえば、野原をかけ回っているイメージがあるので、わたしも大好きなバレーボールで元気に声を出し、足を止めずにボールを追いかけます。そして、奄美の大会ではナンバー1になりたいです。





成人式に臨む93人の新成人 (男子43人・女子50人)

「高校を卒業し、社会に出て働いている人、学生として勉強中の人、将来の道を迷っている人など、皆それぞれ思いがある。今後は自らの個性を活かし、両親や恩師、地域の方々の期待に応えられるよう、日々精

進んでいきたい」と抱負を述べた。
川島健勇町長は式辞で「私は喜界島に生まれたことに誇りを感じており、島での暮らしで培われた「島人魂」を最大限活用してきた。皆さんも喜界島に生まれたことを誇りに思い、それを武器としてたくましく歩んでほしい」とあいさつした。



あいさつをする栄実行委員長

「これからの人生を力強く歩んで行くことを誓う」
—新成人93人が晴れの門出を飾る—

式に先立ち、オープニングイベントが催され、日本舞踊・島唄・祝歌などが披露された。
栄委員長はあいさつで「高校を卒業し、社会に出て働いている人、学生として勉強中の人、将来の道を迷っている人など、皆それぞれ思いがある。今後は自らの個性を活かし、両親や恩師、地域の方々の期待に応えられるよう、日々精

進んでいきたい」と抱負を述べた。
川島健勇町長は式辞で「私は喜界島に生まれたことに誇りを感じており、島での暮らしで培われた「島人魂」を最大限活用してきた。皆さんも喜界島に生まれたことを誇りに思い、それを武器としてたくましく歩んでほしい」とあいさつした。

式辞のあとは、中島智一町議会議長の祝辞、晴永清道教育長からの励ましの言葉があった。
新成人に贈る言葉では、慶応大学卒で三井物産(株)(東京都)に勤務する岩切将一さん(伊砂出身)が自身の体験談を交えながら、「みなさんには無限の可能性がある。自分の可能性を信じて、夢をとことん追ってほしい」と激励した。



若松 雄さん (旧早町中卒・白水出身)

私は高校卒業後、大学進学のため福岡に向かった。故郷を初めて離れ、社会の厳しさ、故郷の偉大さ、両親の苦勞などたくさんことを実感した。これからも多くのことを学び、私の夢である「喜界島の活性化」を実現できるように日々精進していきたい。

この自然豊かで人が温かい「喜界島」という恵まれた環境で生まれ育つことができたことに感謝し、成人としての決意を忘れず、力強く、優しく、たくましく生きていく事を誓う。



冨 竜輔さん (旧二中卒・上嘉鉄出身)

私は、IT関係の企業に就職し、システムエンジニア兼プログラマーとして働いている。覚えることが多いが、仕事も徐々に慣れてきた。非常に忙しい毎日を過ごしているが、今とても充実している。

これから、困難や挫折に苦しむこともあるだろうが、この仲間達と助け合い、若者らしく立ち向かっていこうと思う。そして、この喜界島に生まれ育ったことを誇りに思い、胸を張って社会に貢献できるように努力することを誓う。



幸 可菜恵さん (旧一中卒・湾出身)

私は高校卒業後、自分の夢に近づくために、フラダンスに関わる仕事に就いた。社会に出て壁にぶつかったとき、「やればできる、喜界の子」という言葉を思い出し、前向きに考え、乗り越えることができた。

これからも、両親や先生方、地域の方々、共に歩んだ仲間への感謝の気持ちを忘れず、喜界島への思いを大切にしたい。そして、島人の誇りと向上心を持って、努力していきたい。





中西公園周辺を飛ぶコウノトリ

幸せを運ぶ「コウノトリ」が喜界島初飛来！

国の特別天然記念物であり、幸せを運ぶ鳥といわれている「コウノトリ」が12月11日、早町集落付近で確認された。翌12日、中西公園周辺の牧草地でバッタなどの昆虫を捕食したり、近辺を舞う姿が見られた。NHKニュースの全国版で放送されたこともあり、コウノトリを一目見ようと多くの見学者が訪れた。

コウノトリは、コウノトリ目コウノトリ科に属し、全長約1.1メートル、翼開長約2.2メートル、体重5.5キログラムにもなる大型の水鳥。羽色は、白と光沢のある黒色で、クチバシは黒味がかつた濃い褐色。脚は赤く、目の周囲に赤いアイリングがある。分布域は東アジアに限られ、総数も推定2、3千羽と少なく、絶滅の危機にある。ロシアと中国の東北部地域で繁殖し、主に中国南部で越冬する。

かつては日本全国で見られたコウノトリだが、昭和46年、兵庫県豊岡市で国内最後の野生コウノトリは死んで絶滅した。しかし、昭和40年から同市の人工飼育活動が始まっており、当時数羽のコウノトリが飼育されていた。平成元年、人工飼育開始から25年目にして初めて人工繁殖に成功。平成17年9月、飼育コウノトリを野生復帰させる世界初の試みを行い、その記念として「放鳥式典」を開催した。会場に詰めかけた約3,500人が見守る中、その日放鳥する5羽の

うち、最初の1羽を山階鳥類研究所総裁などを務める秋篠宮殿下・同妃殿下が放たれ、34年ぶりにコウノトリが大空に羽ばたいた。

豊岡市コウノトリ共生課によると、両足につけている輪から今回島に飛来したコウノトリ（J0067）は昨年4月10日に市内で生まれ、6月24日に巣立ったもので、性別はオス。市内には野外で暮らすコウノトリのために約20基の人工巣塔が設置されており、このコウノトリは放鳥され野生化したものから数えて3代目となる。また、これまでの遠方飛来の南端は、県内の佐多岬（豊岡市から約600キロ）で、海を越え約900キロ先の喜界島まで飛来するのは初めてだという。

喜界島に舞い降りた理由について同市の担当職員は「何らかの魅力を見つけ、舞い降りたのでは」と語り、今後の予測については「えさがあれば元気に暮らしていけるが、渡り鳥なのでいつ飛び立っていくか分からない。飛び立ったとしても、喜界島を気に入ればまた戻って来る可能性がある」と話した。

また、コウノトリを見学するときの注意として「えさなどを与えず、観測するときは距離をとって遠くから見守って欲しい。」と呼びかけている。



放鳥の様子（H17.9）【豊岡市提供】



ヒナ鳥（右1～3番目）のうちの一羽が本町に飛来した【兵庫県立コウノトリの郷公園提供】



超高齢者がゲートボールで汗を流す



優勝した伊砂Aチーム【提供写真】

ゲートボール愛好会（西俣理介代表）が主催する「超高齢者（80歳以上）健康祈願交流ゲートボール大会がこのほど、旧坂嶺小グラウンドで開催された。

同大会は、一昨年に初めて開催され今回で2回目。当日は晴天の中、8チーム43人の愛好者が参加し、日頃の成果を競った。

結果は、見事なチームワークと総合力をみせた伊砂Aチームが優勝し、準優勝は伊実久チーム、3位は中間チームであった。

西俣代表は「近年、高齢者の方々の参加率が減少傾向にあるため、80歳以上の選手が戸外でコミュニケーションを取りながら、健康づくりができる機会をつくりたい」と話した。競技中、笑顔で楽しくプレイする姿が多くみられたの

で、若手ボランティアの協力をいたさながら、これからも継続していきたい」と語った。

また、男子の最高齢出場者は、顧末さん（佐手久・大正8年生・94歳）。女子は、櫻井邦子さん（伊実久・大正15年生・87歳）。

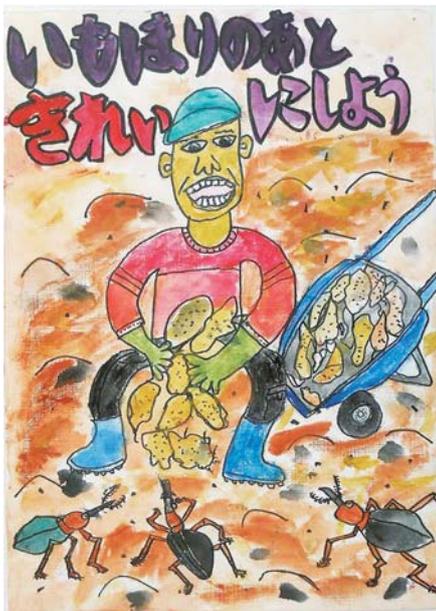
アリモドキゾウムシ根絶を願って

喜界地区アリモドキゾウムシ防除対策協議会（会長・川島健勇町長）が主催する「平成25年度アリモドキゾウムシ根絶標語・ポスターコンクール」の最優秀表彰式が12月10日、役場町長室で行われた。

同コンクールには町内の小学生から218名の応募があり、その中から標語の部、ポスターの部で最優秀賞、優秀賞などが選出された。

標語の部最優秀賞は、喜界小6年の徳幸華さん（湾）、ポスターの部は同小3年の徳永侑磨くん（湾）が選ばれた。

作品について徳さんは「アリモドキが喜界島からいなくなつてほしいという気持ちで書いた。この標語を見て、アリモドキが少しでも減るようにみんながんばってほしい」と話し、徳永くんは「アリモドキが畑に残った芋を食べて増えていくと聞いた。畑にできるだけ芋のかすを残さないように呼



徳永くんの作品



徳さん(左から2番目)・徳永くん(右から2番目)町長室にて

びかけるポスターを描いた」と語った。

アリモドキゾウムシは、奄美群島や沖縄県などに生息するイモ類を食害とする特殊病害虫。奄美群島が日本復帰した昭和28年12月25日に施行された植物防疫法により、被害拡散を防ぐため発生地域からのサツマイモなどの持出規制が取り決められている。

徳さんの標語
みんなで増やせおしいも！
みんなで減らせあらしいもどき！

アベックで準優勝 大島地区駅伝競走大会

奄美群島市町村体育協会が主催する「奄美群島日本復帰60周年記念第54回大島地区駅伝競走大会」が12月7日、喜界町役場を発着点に男女とも5区間（男子33.2キロ・女子15.0キロ）で争われた。

本町の男子チームは、1区から好スタートを切り、後半も各選手が粘りの走りで初の準優勝。女子も区間上位の走りで総合力を発揮し、男子と同じく準優勝であった。

男子監督の古沼寛之さんは「二年を通して練習でき、すべての力を出し切れたことが初の準優勝につながった。この結果に満足せず、頂点を目指して練習を頑張つていきたい」と意欲を語った。区間賞に輝いた選手は次の通り

▽2区（高校生・7.1キロ）岩川武蔵 24分10秒
▽4区（フリー・9.0キロ）龍田優斗 29分49秒



男女アベックで準優勝に輝いた喜界メンバー

コート上の熱き戦い・A級は40年生、B級は33年生がV

喜界町バレーボール協会（盛里枝会長）が主催する「平成25年度混成壮年年代別バレーボール大会」が12月8日、喜界中学校体育館と町総合体育館の2会場で開催された。大会には、年代別に編成された40歳以上のチームが出場した。

A級の部は、今年仲間入りした（昭和）48年生の選手宣誓で開会し、40年生から48年生7チームが出場した。B級の部では、39年生以上で編成された9チームが会場で熱戦を繰り広げた。

結果は、A級の部は40年生が初優勝を果たし、B級の部は、33年生が優勝を飾った。

40年生チームの吉沢ゆかり監督は「A級の最年長チームだった



B級で優勝した33年生チーム【提供写真】



A級で優勝した40年生チーム【提供写真】

が、エースアタッカーを攻撃の起点として相手を攻略し、粘り強く守ることができた。さらに、抜群のチームワークがあり、総合力で優勝できたと思う。前回大会は優勝を逃し準優勝だったため、念願の初優勝ができてうれし」と喜びを語った。

**集落で有効利用
宝くじ助成金で備品購入**

中熊集落（田中三三三区長）はこのほど、宝くじの収益金で運営される「宝くじ助成金事業」を利用し、机などの備品を購入した。今後この備品は集落の運営、行事の開催などに使われ、有効利用される。

今回購入された備品

太鼓、三味線、グラウンドゴルフセット、卓上ランプ、トランペットスピーカー、

冷蔵庫、テレビ、パソコン一式、プリンター、オーブン電子レンジ、カラオケシステム、エアコン、長机、椅子、発電機など（総額240万円）



今回購入された備品

**白い羽を追いかけて熱戦
モア杯バトミントン大会**

喜界町バトミントン協会（安村光弘会長）が主催する「平成25年度モア杯バトミントン大会」が12月1日、町総合体育館で開催された。同大会は、モアスポーツ鹿兒島（鹿兒島市）の協力で約10年前から開催している。

大会には157人（小学生42人・中高一般115人）の選手が参加。3ペア1チームで争われた団体の部では、A級・B級・C級に計19チームが出場。個人の部には、各級に分かれて計73ペアが出場し、選手たちは白い羽を追いかけて白熱した試合を展開した。



子どもから大人まで熱い戦いを繰り広げた

巖忠春理事長は「この大会は、初心者から上級者まで多くの人が楽しみながら参加できる。今後、バトミントンの競技人口を増やすために継続していきたい」と意欲を語った。

バトミントン大会の結果

ダブルス優勝 ▽小3以下 体岡大地・當原太陽ペア ▽小4以上 矢竹優子・竹内桃香ペア
一般個人の部優勝 ▽A級 濱上高史・山口晃平ペア ▽B級 米盛慶介・菊地祐大ペア ▽C級 梶原研人・近内善弘ペア
一般団体の部優勝 ▽A級 M M O A ミントン ▽B級 喜界高校男子 ▽C級 やじろべえ



シマの話題

職人の技がキラリと光る
〜日本手工芸美術展〜



お祝いにつけつけた郷友会の方々とお賞状を片手に記念写真(大島さん[左]内野さん[右])【提供写真】

日本手工芸美術協会が主催する「第38回日本手工芸美術展覧会」が11月26日から12月3日まで8日間、東京都美術館（東京都台東区）で開催された。同展覧会で、大島順子さん（小野津）の作品が公募の部で東京都知事賞に輝き、さらに、早町出身の内野美智子さん（埼玉県所沢市）の作品も同人の部で毎日新聞社賞を受賞した。

大島さんの作品は、モクマオウとサキシマスオウから抽出した液で染色して織った「草木染めのコート地」。大島さんは、一種類の植物からの色出しが難しいとされる黒色をモクマオウから作ることに成功しており、高い評価を受けた。また、この黒色は一日一回行う染液と媒染（染料を繊維に定着させる）の工程を10回以上繰り返し返すことにより色付けされている。

大島さんは「初めての出展で、こんな大きな賞を頂けるとは思わなかった。これも応援・支援していただいたみなさんのおかげ。今後も喜界島の自然の恵みをいいただきながら、独自の色づくりに挑戦していきたい」と意欲を語った。

内野さんの作品は、たくさんの和紙人形で源氏物語54帖の世界を表現した「源氏物語」。作品について内野さんは、「構想から製作まで2年半の期間を費やし



内野さんの作品（左）と大島さんの作品（右）【提供写真】

た。平安朝の優雅な世界を表現したことが評価されたと思う。今後は、喜界島で語り継がれている民話などを表現した作品をつくりたい」と話した。

様々な競技団体が正月から始動開始



元旦初打ちテニス



元旦バスケットボール大会



元旦サッカーフェスティバル



元旦ゴルフ大会



元旦駅伝大会



新春バドミントン大会



新年弓道射大会

4度目の総合優勝を達成！
『民謡民舞奄美連合大会』川畑さおりさん
【提供写真】
受賞を喜ぶ川畑さん

会に向けてこれからも精進していきたい」と意欲を語った。また、この大会の優勝者は、翌年の参加資格がないため連続出場ができない。川畑さんは、2007年、2009年、2011年、2013年大会の今回を含めて、4回連続で総合優勝を果たしている。

島の未来について考える

「喜界島みらい会議」が12月18日、喜界高校体育館で開催された。同会議は、鹿児島大学法文学部法政学科の学生（畑山悠希さん・日高治香さん）により企画されたもの。

畑山さんは2年前、「白ゴマの活用」に関する授業のために来島した際、「喜界島は自然が豊かで多くの観光資源があり、もっと有効利用できるのでは」と感じた。そして、島の活性化には世代を超えて議論することが必要と考え、同大学の教授と学生、町内の有識者、高校生が島の未来について語る会議が実現した。

会議では「志ある農家の挑戦を応援し、志ある消費者と結びつける施策を展開したらいい」という意見や「移住体験ツアーなどのイベントを増やし、島外へPRすることで喜界島を知ってもらおう環境づくりが必要では」など、島の未来について様々な提案がされた。

優勝したことについて川畑さんは「大好きな『むちゃ加那節』で総合優勝できて本当に嬉しい。大会に向かう前、むちゃ加那公園へ行き、手を合わせたことも良い結果につながったと思う。全国大



島の未来について多くの提案があった

福島のフラガールが
喜界小を訪問

常磐興産(株)スパリゾートハワイアンズ（福島県いわき市）のフラガールが12月4日、国内の小学校を巡回する全中学校キャラバン「フラガールきづなスクール」の一環で喜界小学校を訪れた。3年生児童（50人）を対象として行われた同キャラバンでは、フラガールのダンスの披露やフラダンス体験などが行われ、照れながらも楽しそうに踊る児童たちの姿が見られた。

参加した戸田悠太郎くんは「フラガールの人の踊りはとてもきれいだった。ダンスは難しかったけど、楽しく踊れた」と感想を述べた。

また今回、平成23年に東京都で開催された「第1回フラガールズ甲子園」で初代女王に輝いたメンバーの一人・栄

菜々子さんが見学を訪れており、キャラバン終了後には、お互いが情熱を注ぐフラダンスについて楽しく語っていた。スパリゾートハワイアンズは、東日本大震災を機に、一日でも早い復興を願うため全国の小学校を訪問している。年間約20カ所を巡り、小学生たちに笑顔と華麗なダンスを届けている。

フラガールと一緒に記念撮影する
栄さん（左から2番目）

優雅な踊りを披露するフラガール



喜界町弁論・英語暗唱大会



12月5日(木)に喜界町弁論・英語暗唱大会(教育委員会主催)が喜界中学校体育館で行われました。

弁論の部では、各小学校5、6年生の代表、中学校の各学年の代表、喜界高校の1年生の代表が、これまでの生活の中で感じたこと、学んだことを堂々とした態度で発表しました。発表したテーマは、郷土、平和、夢、家族愛、環境、友情など多岐にわたりとても充実した発表ばかりで

した。

英語暗唱の部では、中学生の各学年の代表、喜界高校の1年の代表がジェスチャーを交えながら流暢に暗唱を披露しました。また、小学生は、外国語活動の学習の成果を歌やクイズ、表現を交えながら発表しました。なお、喜界中学校3年の界真子さんは島唄を披露しました。

参加した児童・生徒は、それぞれの学年の発達段階に応じた素晴らしい発表に感動している様子でした。たくさんの保護者も来場し温かい拍手や声援を送っていました。

【参加した児童・生徒の感想】

○早町小学校5年 保科 果南
初めて弁論大会に出たので、緊張して笑顔もつくれなかった。でも、

学校・学年	弁士名	演題
喜界中1年	徳永 健太郎	喜界島のよさ
喜界中2年	太田 三奈	戦争のおそろしさ
喜界中3年	登 聖佳	サッカーと私
喜界小5年	吉沢 葉月	夢に向かって
早町小5年	保科 果南	大好きなおばあちゃん
喜界小6年	都 優華	ペットボトルキャップが世界を救う
早町小6年	酒井 杏実	わたしの宝物
喜界高1年	岡田 美咲	五文字の力

学校・学年	発表者・テーマ
喜界中1年	喜村 竜也「Wheelchair Basketball」
喜界中2年	寺田 はるな「My Dream」
喜界中3年	吉行 彩加「My Dream」
喜界小5、6年	5、6年生全員「Let's enjoy English time!」
早町小6年	6年生全員「Let's go to Italy!」
喜界高校1年	廣 知子「Sleep in Animals」

「発表はすごくよかった。」と言われたので、うれしかった。また、この大会に出たいと思う。

○喜界小学校6年 藤村 良輝
人の前で英語を話すのは緊張したが、堂々と発表できてうれしかった。

中学生や高校生の発表を聞いて、ほくもあんなに上手に発音できるようになりたいと思った。

○喜界中学校2年 寺田 はるな
出場前は、とても緊張していたが、いざ前に出たら、みんなにしっかりと伝えようと、練習したことを一生懸命表現することができた。

重要文化財を火災から守ろう!!
第60回文化財防火デー防火訓練

12月15日に佐手久保食神社で校区民・関係機関を含む約60名が参加し、文化財防火訓練を実施しました。

これは、昭和24年に法隆寺金堂壁画が焼損した1月26日を中心に全国的に文化財防火運動を展開し、国民一般の文化財保護思想を図ろうとする目的で、毎年、旧小学校区を持ち回りで行ってまいります。

※本町は、サトウキビの農繁期に入る前に実施。当日は、重要文化財が保管してある佐手久

保食神社から出火したとの想定で、火事をいち早く消し止め、重要文化財を火災から守るといふ流れで大島地区消防組合喜界分署と喜界町消防団(志戸桶分団)とが連携して行いました。

その他、大島地区消防組合喜界分署員による消火実演や外内淳文化財保護審議会長の講話が行われました。

参加者は寒空の中、熱心に実技指導や講話に聞き入っていました。



※消防組合喜界分署と志戸桶分団による消火活動の様相



すこやかニユース

すこやかセンター (☎65-3522)

あけまして

おめいじつおめでとう！

今年もみなさまそれぞれが
いきいきと過ごせますよう
スタッフ一同願っております。

冬の hypertension にご注意を！

喜界町では、高血圧の方
がとても多いです。冬は、
急な温度の変化で急に血圧
が上昇し、脳卒中や心筋梗
塞などを引き起こす危険が
増します。
対策は？

・寒い外へ出るときは、暖
かい格好で防寒をしっか
り！
・風呂場では、湯船のふた
を開けておいたり、シャワー
で浴室内を暖めたりしてお
きましよう。
・トイレでもできれば暖房器
具や暖かい便座を使用しま
しよう。
・日頃から、塩分控えめを
心がけ、服薬中の方は、飲
み忘れのないようにしま
しょう。



歯周病？あなたは大丈夫？

25歳以上の80%は歯周病
にかかっているとも言われ
ています。進行すると歯が
ぐらついて、固い物が食べ
られなくなったり、歯周病
の原因菌が心筋梗塞や脳
梗塞などの全身の疾患に関
わってきたりします。定期
的に歯科で健診を受け、食
後の適切な歯みがきで進行
を防ぎましよう。



歯周疾患検診のお知らせ

今年度から、節目年齢の
方の歯周疾患検診が町内の
医療機関でも受けられるよ
うになりました。この機会
に口の中の健康も見直して
みましよう。

【対象者】今年度40・50・
60・70歳の方(11月に受診
券を送付しています。)

【期間】平成26年2月28日
まで

【費用】公費負担のため無料
(受診券を持って受診して
ください。)

MRⅡ期、2種混合予防接 種はお済でしょうか？

MRⅡ期…幼稚園年長組
相当の年齢のお子さん
2種混合…小学校6年生
有効期限が今年度末
までとなっております。早
めに接種を済ませましょ
う。また、3種混合、ポ
リオなど接種期限が7
歳半までとなっております
ので、とくに小学校入
学前のお子さんについては、
配布の問診票をご確認くだ
さい。また、問診票を無く
された方は、すこやかセン
ターまでご連絡ください。

3歳児健診
虫歯ゼロ
だったよ！



若松 佳奏くん



新田 美月ちゃん



西 珊朱くん



赤崎 凜空くん



道下 のどかちゃん



浜田 涼輔くん



壽岡 宥佑くん

ご存じですか？このルール

害虫のまん延防止にご協力ください。

奄美群島及びトカラ列島には、さつまいもに甚大な被害を及ぼすアリモドキゾウムシ・イモゾウムシ(トカラ列島を除く)・サツマイモノメイガなどの害虫が発生しています。

これらの害虫のまん延を防止するためにさつまいも(紅いも等)、ヨウサイ、あさがお、ぐんぱいひるがお等の生茎葉及び地下部は、本土及びトカラ列島などへの持ち出しが規制されています。

*さつまいもは、消毒(蒸熱処理)をすれば持ち出せますので、事前に植物防疫所へお問い合わせください。

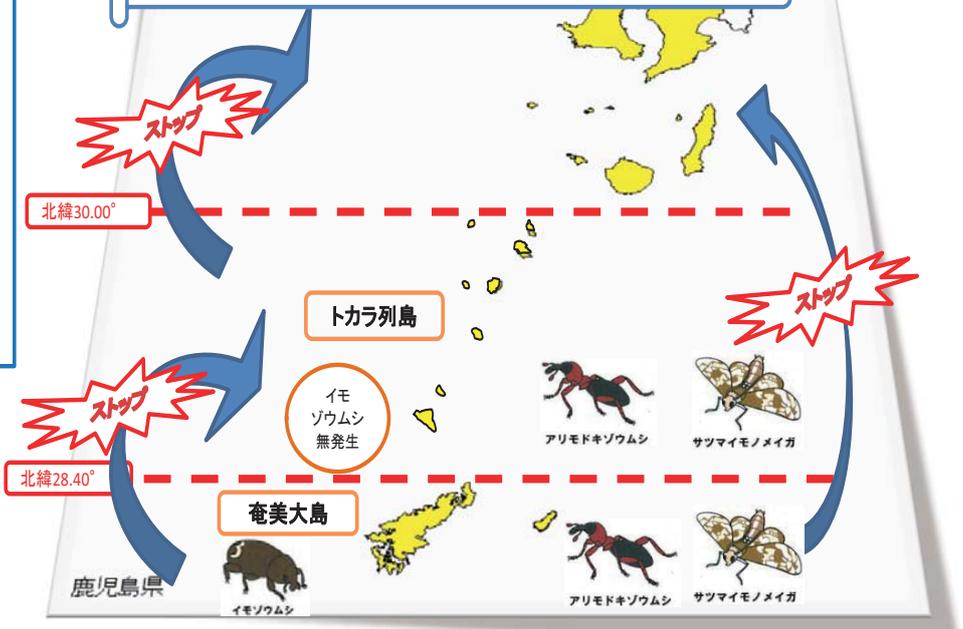
*さつまいも加工品(焼き芋など)、熱帯果実などは自由に持ち出せます。



詳しくは下記へお問い合わせください

門司植物防疫所名瀬支所
0997-52-0459

害虫のまん延防止のため、奄美群島から本土(トカラ列島以北を含む)へのさつまいも等の持ち出しはできません。
トカラ列島から本土への持ち出しもできません。



有料広告



喜界島特産

IKI-KURUMAEBI
くるまえび



創業20周年、東京築地魚市場にて、高い評価を得ております。
お祝いや贈答に活きたくるまえびをどうぞ。

株式会社 ミネックス

TEL0997-66-0081

担当：習(ならい)

FAX0997-66-1366

ホームページアドレス <http://iki-kurumaebi.com>



※ご注文はお電話もしくはホームページからどうぞ

保健福祉課からのお知らせ

[新しい民生委員が決まりました]

平成 25 年度民生委員・児童委員委嘱状及び感謝状伝達式を 12 月 2 日、老人福祉センターで行いました。今年も地域の身近な相談相手としてみなさんの支援を行います。

民生委員・児童委員名簿

集 落	氏 名	TEL
湾	岩田 進	65-0936
湾	禰 勇	65-1092
赤 連	平田 幹子	65-0130
赤 連	長井 藤男	65-0211
中 里	松村 千佐子	65-1321
中 里	福島 正子	65-0089
荒 木	重野 美保子	65-0327
荒 木	上村 初代	65-2522
手久津久	新原 一雄	65-3099
上 西	西原 磯子	65-1281
上 中	藤岡 伸子	65-2798
上 東	富田 只益	65-1803
先 山	都 隆男	65-1901
浦 原	叶 澄江	65-3133
川 嶺	井澤 紀美子	65-2705
羽里・山田	盛 光弘	65-0738
城 久	城山 久敏	65-2915
滝 川	川畑 治雄	65-2279
島 中	伏見 恵美子	65-2241
池 治	保 富志子	65-1003
中間・先内・中熊	田中 和美	65-2072
大朝戸・西目	体岡 光子	090-3196-4717
坂 嶺	開 典子	65-1335
伊 砂	岩切 園子	65-2651
伊実久	久永 初代	66-1329
前金久	秋月 まち子	66-1211
神 宮	島崎 久代	66-0802
志 東	高田 エツミ	66-1309
志 南	春山 瑠美子	66-1367
佐手久	弘岡 稲子	66-1252
塩 道	谷 田鶴子	66-0094
早 町	福塚 裕美	66-0501
白 水	永 房枝	66-0547
嘉 鈍	藤廣 波江	66-0566
阿 伝	麓 真利子	66-1216
蒲 生	栗島 司	66-1848
花良治	川畑 勝徳	66-0215

主任児童委員名簿

集 落	氏 名	TEL
花良治	羽佐田 紀子	66-0212
池 治	吉本 敏子	65-1465

民生委員・児童委員とは・・・

「民生委員」は、民生委員法に基づいて厚生労

働大臣から委嘱された非常勤の地方公務員です。社会福祉の増進のために、地域住民の立場から生活や福祉全般に関する相談・援助活動を行っており、創設 90 年以上の歴史を持つ制度です。また、全ての民生委員は児童福祉法によって「児童委員」も兼ねており、妊娠中の心配ごとや子育ての不安に関する様々な相談に応じたり、支援をしています。

核家族化が進み、地域社会のつながりが薄くなっている今日、子育てや介護の悩みを抱える人や、障害のある方・高齢者などが孤立し、必要な支援を受けられないケースがあります。そこで、民生委員・児童委員が地域住民の身近な相談相手となり、支援を必要とする住民と行政や専門機関をつなぐパイプ役を務めます。

喜界園からのお知らせ

「臨時職員募集のご案内」

- ① 募集職種・・・介護職（若干名）
- ② 勤務先・・・喜界町立特別養護

老人ホーム喜界園

- ③ 募集要件・・・性別・経験は問いませんが、介護福祉士・ホームヘルパー 2 級資格取得者など有資格者は優遇します。
- ④ 募集期間・・・随時、受け付けますが、採用定員に達し次第、終了します。
- ⑤ 雇用条件・待遇・・・詳細につきましては、下記まで、お問い合わせ下さい。

（問い合わせは土・日・祝日を除く
平日の 8 時 30 分から 17 時 15 分までの時間にお願ひします。）

【問い合わせ先】

鹿児島県大島郡喜界町赤連 6 9 番地

喜界町立特別養護老人ホーム喜界園

電話：0997-65-0294

担当：金井・孝田（タカダ）



町からのお知らせ

保健福祉課からのお知らせ [平成26年度 保育所入所の申込み]

【受付期間】平成26年1月29日（水）～平成26年1月31日（金）

※平成26年4月1日入所希望の方は、必ずこの期間内に申込みをして下さい。

【受付時間】午前8時30分～午後5時15分

【受付場所】喜界町役場保健福祉課

※申込用紙は各保育園、保健福祉課にあります。

【対象児】ひまわり第一保育園：小学校就学前の児童、ひまわり第二保育園：小学校就学前の児童

【入所基準】 両親あるいは（両親と別居の場合は児童の面倒を見ている者）がいずれかの事情にある場合

- ①居宅以外で労働することを常態としていること。
- ②居宅内で当該児童と離れて日常の家事以外の労働をすることを常態としていること。
- ③母親の出産の前後、病気、負傷、心身に障害がある場合。
- ④死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない家庭の場合。
- ⑤家庭に長期にわたる病人や心身の障害のある人があり、親が常時看護にあたっている場合。
- ⑥地震、風水害、火災、その他の災害の復旧にあたっていること。

※詳しくは保健福祉課
(TEL 65-3685)へ
お問い合わせ下さい。



住民課からのお知らせ 「毎月5日はエコライフデー！」

地球環境を守るかごしま県民運動推進会議
毎月5日をエコライフデーとし、電気・水・燃料などの省エネ活動やエコドライブに取り組んでいます。

1月の取り組み
環境にやさしい住まい方（ごみ減量）

- ①ごみは減らします



- ②マイ箸・マイカップを使います。
- ③長く使えるもの、詰め替え商品などごみが出にくい商品を選びます。

総務課からのお知らせ NO.1 [交通事故に係わる弁護士相談]

平成25年度 交通事故に係る弁護士相談日程

1. 相談は無料です。
2. 弁護士相談については、相談を受けたい旨を、必ず事前に各相談所に申し込んで下さい。
3. 時間に制限がありますので、定員になり次第、締め切らせていただきます。
4. 下記の相談所では、交通事故相談員による相談も受け付けております。相談時間等につきましては、各相談所にお問い合わせ下さい。

支所	所在地	相談日	相談時間
大島支所 (県大島支庁) ☎ 0997-52-0999	〒894-8505 奄美市名瀬 永田町 17-3	平成26年 2月26日(水)	午後1時～ 午後2時

総務課からのお知らせ NO.2 [強盗訓練を実施しました]

喜界町防犯連絡団体連絡協議会では12月17日、奄美警察署喜界幹部派出所職員協力のもと強盗訓練を鹿児島銀行喜界支店において行いました。

設定は、営業時間内に拳銃を持った強盗が押し入り、店内で金を要求する場面を想定したものです。警官の指導を受けた同支店の職員が冷静に対処し、強盗が去ったあとに強盗犯の特長などを受け答える事情聴取も想定して行われました。

島内の金融機関の職員も見学を訪れ、防犯用カラーボールの投げ方の講習を行いました。



* 1歳になりました *



霜田 ^{ゆき} 結希ちゃん(湾)
(父 一彦・母 純子)

あっという間に1歳になったね。いつもたくさん笑顔とおしゃべりで私たち家族は癒やされています。これからどんな島ゆみたを覚えていくのかな？今後の健やかな成長を願っています。(父母より)

* おおきくなあれ *



佐藤 ^{かりん} 愛倫さん(8歳)(左)・^{たくま} 匠真くん(5歳)(右)・^{かな} 加菜ちゃん(3歳)(中央)
(父 達夫 母 ミホ子)

あんなに小さかった子供達が、あっという間に大きくなりました。まじめでゆっくりコソコソタイプの愛倫、ムードメーカーの匠真、オチャメな加奈、「兄弟は一生宝物だよ」家族が元気で楽しく過ごせるように、みんなで協力していこうね。いつもありがとう。(父母より)



今日の花 ~紫式部の実~

湾集落の道端で美しい紫色の実をつけ、通行人の目を楽しませる紫式部。短い柄の先に小さな紅色がかかった紫色の花を咲かせた後、直径3mmほどの果実をつけます。

名前の由来は、紫色の実をびっしりつけることから「紫重実、紫敷き実(むらさききみ)」と呼ばれていたものが、いつのころからか源氏物語の作者・紫式部を連想させて「紫式部」となったなどの説があります。花言葉は「愛され上手」「上品」など

~懐かしの思い出写真募集~



湾小学校



第一中学校



早町小学校



早町中学校

左の写真は、昭和20年代に撮影された町内の小中学校の写真です。当時は、茅葺きの校舎で子どもたちが勉学に勤しんでいた。
広報では、歴史を記す貴重なものや、昔懐かしい思い出写真を募集します。写真等は返却いたしませんので、役場企画課広報担当までご投稿ください。

まだわあさんど



基井 ヨネさん

(昭和2年生・86歳・荒木)

ゲートボールが何よりも楽しみと語るヨネさん。現役の選手として活躍する一方、審判員としても厳しく公正な目を光らせています。また、ヨネさんは大島紬機織養成所で24年間講師を務め、多くの後継者育成に尽力されました。今日も自慢の白いスクーターで、颯爽と島内を駆け回っています。長寿の秘訣は、「自分で育てた野菜を中心とした食生活」と「とにかく体を動かすこと」だそうです。これからも元気に長生きして下さい。

喜界歌壇

〈萌葉会〉
 故郷へ未練断ち切りホームに来て 皆と仲良く日々楽しけれ
 広報に恥かき短歌元氣記し 氣づかう友に頭垂れつつ
 一ゲート通れば嬉しゲートボール 皆で楽しむ午後のひととき
 陽にはえて乙女のはじらいわぶさの 愛でてよろこび食して楽しむ
 故郷去りてミーニシ短歌会友の母 葉書に詠みし思ひ胸打つ
 年の瀬の庭の水仙まだ蕾 新年なれば咲いて香りし
 久々に夫の友来たる酒交わし 心踊りし笑顔満開
 日本復帰六十周年道程の 忘れてならず戦士の叫び
 戦鬨帽、モンペ、竹槍、駆け抜けて たどり着きし傘寿俱に祝わむ
 傘寿越え傘寿えの道ふみしめて 白寿の彼方えゆたり歩わむ

佐東喜三郎

戸籍の窓

ごんごちは赤ちゃん

氏名	保護者住所
中尾 沙羅・隆雄・湾	豊田 咲七・健吾・赤連
益田 健・大介・志戸桶	上地琥太郎・徳人・赤連

いついそいそおなせかに

氏名	住所
佐野 澄香剛	小野 津原
新島 甚嘉	早 鈍

ごめい福をお祈りします

住所	氏名	年齢
志戸桶 向田	公子	67
荒木 光山	保	68
小野津 恩	ワサ	88
志戸桶 大喜	ソノエ	86
手久津久 喜島	亀	98
中里 野間	ヨシ	98
大朝戸 朝山	昭成	58
上嘉鉄 住友	榮山	85
赤連 榮多	ヤス	72
山田 福山	幸子	84
湾 豊	ヨシ	99
手久津久 朝崎	吉雄	86
小野津 土岐	ハツ	95
羽里 奥	文	79
小野津 朝崎	ハツ	79
浦原 岩	永	75

社協だより

住所	氏名
上嘉鉄 濱川	千世子
志戸桶 酒井	孝之
中里 向田	宝喜代
志戸桶 恩	隆治
小野津 光山	幸寛
志戸桶 杉山	トセ
中里 野間	昭夫
志戸桶 大野	智夫
大朝戸 朝山	春夫
上嘉鉄 住友	スミ
小野津 吉塚	靖徳
山田 福山	芳子

ふるさと寄付金

住 所	氏名
湾	豊
小野津	徳永
小野津	土岐
浪江	勝夫
京都府	金井
神奈川	壽
住 所	氏名
京都府	金井
神奈川	壽
住 所	氏名
京都府	金井
神奈川	壽

納付をお忘れなく！(1月)
【税】町県民税第4期・国民健康保険税・介護保険料第5期 1/31まで
【使用料】1月分公営住宅・簡易水道・下水道使用料・保育料 1/31まで

役場 1階会計又はお近くの金融機関で納めてください。納入はお早めに！！

喜界町の推計人口

(平成25年12月1日現在)

世帯数	3,507戸 (△11)
人口	7,607人 (△12)
男	3,687人 (△4)
女	3,920人 (△8)

()は前月比



日本復帰大島地区駅伝ミニスナップ



男子選手団



女子選手団

くらしのカレンダー

(平成26年1月21日～平成26年2月20日迄)

- 研修・・・役場研修室
- 子育て・・・子育て支援センター
- すこ・・・旧すこやかセンター
- コミ・・・役場コミュニティーホール
- 保健・・・保健センター

日	月	火	水	木	金	土
		1/21	1/22	1/23	1/24	1/25
		● 2歳・2歳半 児歯科健診【すこ13:15～】	● 家畜集団検診【佐手久地区】	● 家畜集団検診【中部地区】 ● 登記相談【研修9:00～13:00】	● 家畜集団検診【町一円】	
1/26	1/27	1/28	1/29	1/30	1/31	2/1
		● 家畜集団検診【荒木・上嘉鉄地区】	● 特別資料整理期間のため休館【図書館～2/7】			
2/2	2/3	2/4	2/5	2/6	2/7	2/8
2/9	2/10	2/11	2/12	2/13	2/14	2/15
				● 集団予防接種【すこ14:45～16:00】	● 体操教室【コミ19:00～20:30】	● 体操教室【コミ9:30～11:00】
2/16	2/17	2/18	2/19	2/20		
● 喜界町島唄・島ゆみた大会【中央公民館】	● 母子相談【子育て11:00～12:00】	● 1歳歯科健診【すこ13:30～】 ● 移動図書館(1・2・3年)【早町小13:00～13:50】	● 精神デイケア【すこ10:00～12:00】 ● 移動図書館(4・5・6年)【早町小13:00～13:50】	● ブックスタート【保健13:15～】 ● 登記相談【研修9:00～13:00】 ● 乳児健診【すこ13:15～】		



毎週月曜日は図書館休館日です。
毎週土曜日14:00～はお話し会（図書館2階）です。

※行事は変更になる場合があります。ご了承ください。